

2003 年 6 月 20 日

■企業経営予測調査 2003 年 6 月調査結果■

2001 年 12 月調査以来の悪化となった神奈川県内中堅・中小企業の業況判断

(株)浜銀総合研究所(社長 遠山悌二郎)では、神奈川県内の中堅・中小企業を中心としたアンケート「企業経営予測調査」の 2003 年 6 月調査を実施いたしました。今般、同調査のなかで最も注目度が高いと思われます業況判断 D. I の集計結果がまとまりましたのでご案内いたします。また、今回は同時に行いました新型ウィルス性肺炎(SARS)が企業活動に与える影響についてのアンケート結果についても併せてご案内いたします。

[要 旨]

神奈川県内中堅・中小企業の 2003 年 6 月末時点における業況判断 DI(全産業ベース、業況が「良い」-「悪い」、回答社数構成比、%)は▲42 となった。前回の 3 月調査(▲32)に比べて 10 ポイントの悪化。「悪い」超幅が拡大したのは一昨年(2001 年)12 月調査以来。

今回の業況判断 DI 値を製造業、非製造業の別にみると、製造業では前回 3 月調査の▲27 から今回▲43 へと 16 ポイント悪化した。米国向けを中心とした輸出の増勢鈍化がこのところ目立つ下で、輸送機械が前回+19 の「良い」超から今回▲4 の「悪い」超に転じた。また、一般機械も▲40 から▲53 へとマイナス幅が目立って拡大した。

他方、非製造業でも▲36 から▲41 へと「悪い」超幅が拡大した。家計の所得・雇用情勢が悪化するなか、天候や曜日配列に恵まれずゴールデンウィーク中の販売が不芳であった卸・小売業では、▲34 から▲47 へとこの3か月間でマイナス幅が拡大した。

SARS が県内企業活動に及ぼす影響についてのアンケート集計結果は、「影響が出ている」とした企業は全体のほぼ1割(9.7%)、「今のところ影響は出ていないが今後影響が出ると予想される」企業の割合は 16.3%であった。主な影響は「輸入部品・材料・製品の調達の遅れ」や「海外赴任の延期・出張中止」等である。

企業経営予測調査 2003年6月実施

四半期別(第128回)結果

対象企業 神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした830社(うち製造業328社、非製造業502社)

回収率 400%(回答企業332社 うち製造業159社、非製造業173社)

業況判断D.1 (2003年6月末)

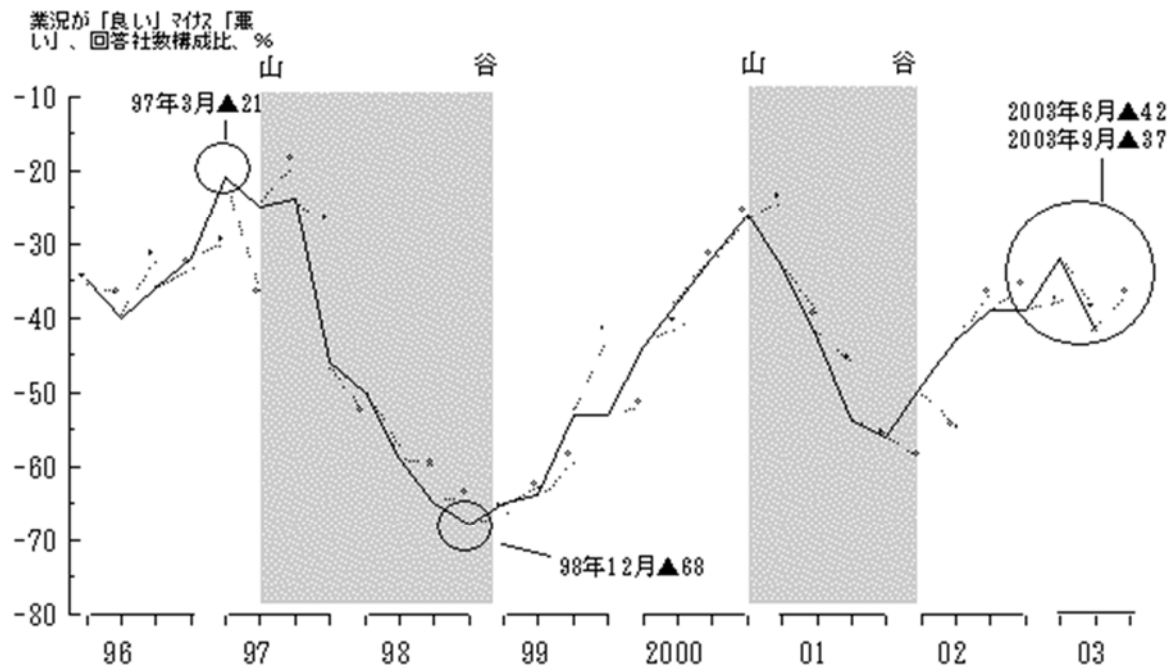
2003年6月末における神奈川県内中堅・中小企業(全産業)の業況判断DI(注)は▲42となった。これは前回3月調査(▲32)に比べて10ポイントの悪化である。

製造・非製造の別にみると、製造業は、前回調査の▲27から今回▲43と16ポイント悪化した。米国向け原動機や乗用車の輸出減退などから一般機械、輸送機械などが悪化したほか、化学・石油、食料品なども大幅にマイナス幅が拡大した。

一方、非製造業では、建設業はマイナス幅が縮小したもの、食料品、衣料品、生活雑貨関連を中心に卸・小売業などが悪化したため、前回調査の▲36から今回▲41と5ポイント悪化した。

(注)業況判断DI業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、%。

業況判断D.1.の推移
(全産業)



(注1)毎年、3、6、9、12月調査の値

(注2)○印は3か月前調査における当該月の予想値

(注3)網がけ部分は全国の景気後退期を示す。

〔3か月先の見通し〕

2003年9月末時点の業況判断DIは、全産業で▲37と6月末実績(▲42)比5ポイント改善する見通しである。

製造業では、一般機械はマイナス幅の拡大を見込んでいるが、電気機械、食料品などほとんどの業種で改善予想となっていることから、「悪い」超幅は▲39と6月末比4ポイント縮小する。

非製造業では、建設、卸・小売、サービスなどで改善を見込んでいることから、DI値は▲36と同6月末比5ポイントマイナス幅が縮小する見通しである。

足下の業況判断と3か月先の見通し
(業況判断DI:業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、%)

区 分		2002 年 12 月末	2003 年 3月末	2003 年 6月末	2003 年 9月末 (予想)
全 産 業		▲ 39	▲ 32	▲ 42 (▲ 39)	▲ 37
製 造 業		▲ 38	▲ 27	▲ 43 (▲ 37)	▲ 39
	電気機械	▲ 44	▲ 37	▲ 42 (▲ 34)	▲ 40
	輸送機械	▲ 20	19	▲ 4 (▲ 10)	▲ 4
	一般機械	▲ 39	▲ 40	▲ 53 (▲ 50)	▲ 59
非製造業		▲ 40	▲ 36	▲ 41 (▲ 40)	▲ 36
	建 設	▲ 47	▲ 62	▲ 59 (▲ 64)	▲ 55
	卸・小売	▲ 37	▲ 34	▲ 47 (▲ 38)	▲ 42
	サービス	▲ 40	▲ 20	▲ 21 (▲ 29)	▲ 17

(注)カッコ内は2003年3月末調査時点における2003年6月末予想である。

〔新型ウィルス性肺炎(SARS)が企業活動に与える影響についてのアンケート結果〕

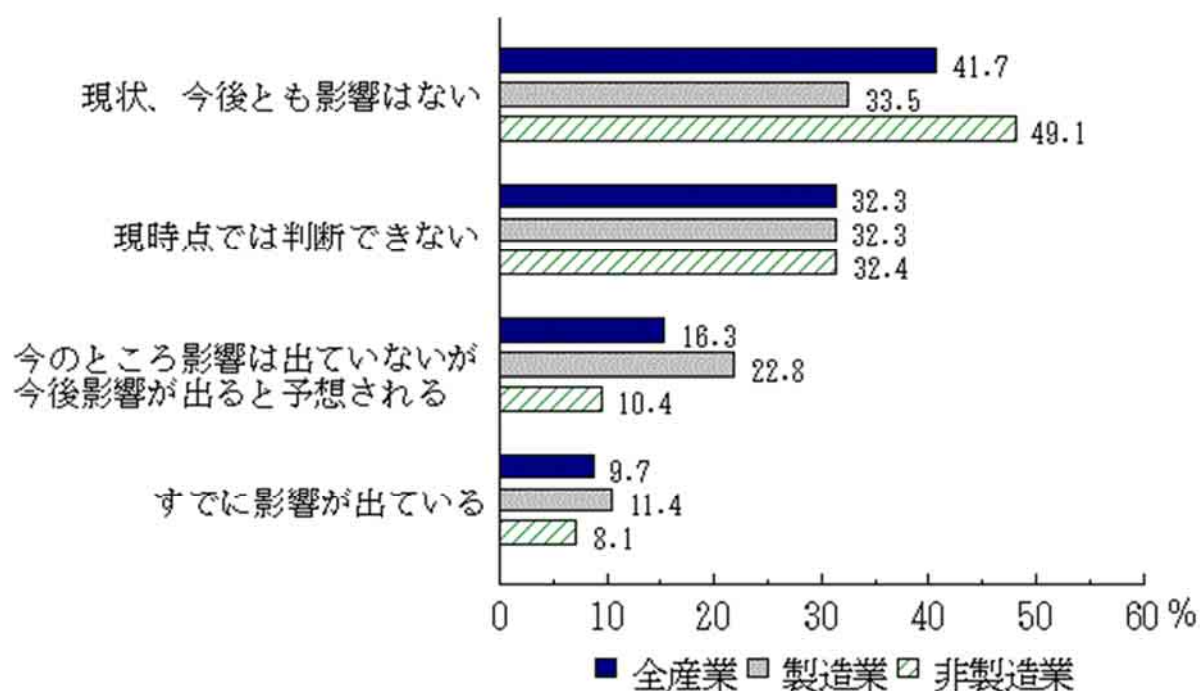
(「すでに影響が出ている」企業は約1割、「影響はない」は4割強を占める)

新型ウィルス性肺炎(SARS)の流行が県内中堅・中小企業の企業活動に及ぼす影響についてのアンケート結果をみると(調査時点6月上旬)、「すでに影響が出ている」と回答した企業の割合は9.7%とほぼ1割を占めた。さらに、「今のところ影響は出ていないが今後影響が出ると予想される」とする企業は16.3%、「現状、今後とも影響はない」とする企業は41.7%、「現時点では判断できない」とする企業は32.3%となった。「すでに影響が出ている」と「今のところ影響は出ていないが今後影響が出ると予想される」を合わせた企業割合は26%とほぼ4社に1社の割合となっている。

業種別では、製造業は「すでに影響が出ている」とした企業は11.4%で電気機械、一般機械、金属製品などでその割合が高い。非製造業では「すでに影響が出ている」は8.1%、運輸・倉庫業、サービス業などで目立つ。

製造・非製造別に比べてみると、製造業は「今のところ影響は出ていないが今後影響が出ると予想される」は22.8%と非製造業の10.4%を大幅に上回ったのに対し、非製造業は「現状、今後とも影響はない」が49.1%とほぼ半数を占め、製造業の33.5%を大きく上回っている。このようにSARSの影響は非製造業に比べ製造業でより大きいとみられる。

SARS の影響(回答社数構成比、%)



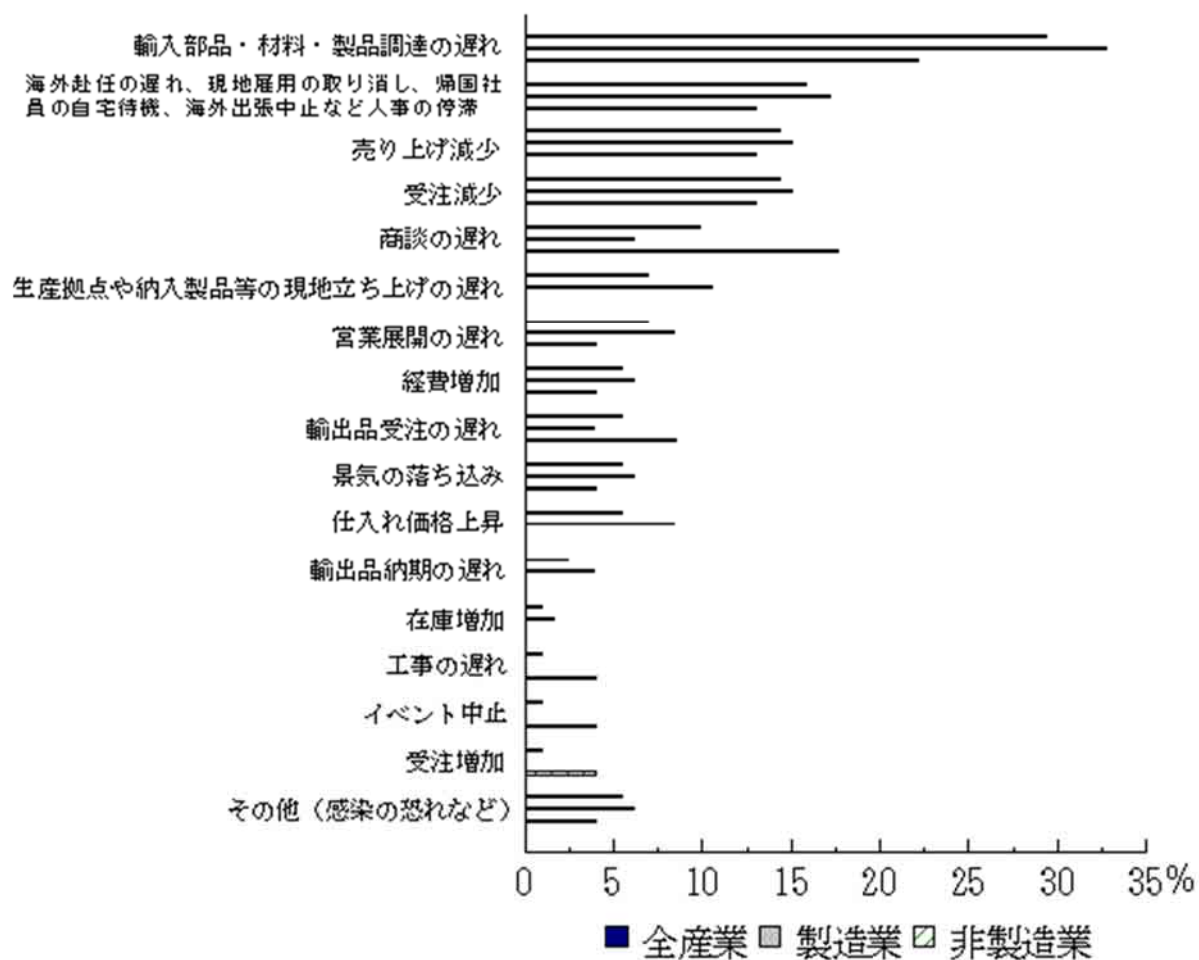
(「輸入部品・材料・製品の調達の遅れ」や「人事の停滞」へ大きな影響)

「すでに影響が出ている」と「今のところ影響は出ていないが今後影響が出ると予想される」と回答した企業の SARS による企業活動への影響を具体的にみると(複数回答)、最も多かったのは「輸入部品・材料・製品の調達の遅れ」で全体の 29.9%とほぼ3割を占めた。以下、「海外赴任の遅れ・現地雇用の取り消し・帰国社員の自宅待機・出張中止」の人事の停滞が 16.4%、輸出減少や観光客の減少等による「売り上げ減少」、輸入材料調達の遅れや海外引っ越し者の減少などによる「受注減少」がそれぞれ 14.9%、「商談の遅れ」10.4%、「生産拠点や納入品等の現地立ち上げの遅れ」、「営業展開の遅れ」が各々7.5%などと上位を占めている。

製造・非製造別では、製造業は「輸入部品・材料・製品の調達の遅れ」、「生産拠点や納入品等の現地立ち上げの遅れ」、「仕入れ価格上昇」などの割合が非製造業に比べ高い。一方、非製造業は「商談の遅れ」、「輸出品受注の遅れ」などの割合が製造業を上回っているほか、「中国向け工事の遅れ」、「イベント中止」などの影響もみられる。

SARS が企業活動に与える影響内容(複数回答)

(「すでに影響が出ている」、「今のところ影響は出ていないが今後影響が出ると予想される」と回答した企業の回答社数構成比、%)



【本件についてのお問い合わせ先は、下記の担当までお願いいたします】

(株)浜銀総合研究所 調査部

八木、守谷

電話 045-225-2375(ダイヤルイン)